

施策①北陸新幹線の早期全線開業を目指す

早期全線開業を目指して国土交通大臣に要望書を提出

北陸新幹線の早期全線開業を目指し、福井市北陸新幹線建設促進協議会（会長：福井市長）は、7月29日（火）に国土交通大臣に対し要望書を提出しました。



▲国土交通省への要望

施策②公共交通の利用を促進する

デジタル企画切符で公共交通の利用促進

フェニックスプラザなどで開催されるコンサートや、連携市町で開催されるイベントとコラボしたデジタル企画切符をふくいMaaSアプリで販売し、令和6年度と比較して交通関係の切符の売上金額は約3倍に増加しました。

また、福井ブローウィングスのホームゲームでは、バスで来場した人にオリジナルの選手カードを配る取組を行い、自動車利用からの転換を図りました。



▲ふくいMaaSアプリ（左）とオリジナルの選手カード

施策③ICTを活用して公共交通の利便性を高める

ふくいMaaSアプリのPR活動を強化

5月には大阪・関西万博でのパネルディスカッション、10月には幕張メッセで開催されたCEATEC2025地方創生パビリオン、11月には仙台市で開催されたTOHOKU DX GATEWAYに出展するなど、PR活動を行いました。

ふくいMaaSアプリが提供されている「ふくアプリ」の会員数は20万人を突破しました。



▲万博でのパネルディスカッション

施策④地域拠点の機能充実を図り、公共交通利用者の利便性向上を図る

清水地区でオンデマンド交通の実証運行を実施

清水地区は路線バスや乗合タクシーなど多様な交通が集中しており、持続可能な交通サービスへの見直しを行うため、オンデマンド交通の実証運行を、11月28日（金）から12月27日（土）まで行いました。

地域拠点であるPLANT-3への移動を中心に、既存交通と比較して概ね利用者は多く、アンケートでは満足度において高い評価となりました。



▲出発の様子